

議会だより

あ い か わ

第 124 号

責任者 議会議長 森川絹枝
年4回発行・本号14ページ



どんど焼き（上熊坂地内）

訴えの提起（町税・国保税差し押え債権取り立て金請求）
2件を可決（定例会）

P 3

「細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書」
を送付

P 4

町特別職及び職員の期末手当等の引き下げに関する条例を可決（臨時会）

P 2

平成22年2月15日 <11月第3回臨時会・12月定例会>

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

提出議案15件可決

平成21年愛川町議会「11月第3回臨時会」及び「第4回12月定例会」が下表のとおり開催されました。

この臨時会では、特別職・一般職の12月期末勤勉手当の引き下げなど、町長提出議案6件を可決・承認しました。

また、12月定例会では、町長提出議案として条例・補正予算・事件議案及び議員提出議案として、「細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種を求める意見書」合計9件を可決しました。

本号ではこれら「11月第3回臨時会」及び「12月定例会」の内容をお知らせいたします。



平成21年第3回臨時会日程

月	日	曜	会 議 名	主な内容
11	24	火	本 会 議	専決処分の承認、条例及び事件議案の質疑・討論・採決

平成21年第4回定例会日程

月	日	曜	会 議 名	主な内容
12	1	火	本 会 議	町長提出議案の説明
	3	木	本 会 議	一般質問 (6人)
	4	金	本 会 議	一般質問 (5人)
	8	火	教育民生常任委員会	付託案件の審査 所管事務調査
12	9	水	総務建設常任委員会	付託案件の審査 所管事務調査
	15	火	本 会 議	提出議案の総括質疑・ 討論・採決 付託案件の審査報告・ 質疑・討論・採決 議員提出議案の説明・ 質疑・討論・採決 農業委員会委員の推薦

第3回臨時会

条例関係

◎愛川町職員の給与に関する条例の一部改正

(賛成15人・反対2人)

ポイント＝人事院勧告及び国家公務員の給与改定

の内容に準拠し、一般職

の職員の給与改定を行う

もので、公務員給与が民間を上回っていることから、官民給与との差を是正するための措置を講ずるものです。

主な改正内容は、平成21年12月期の期末手当の支給割合を0・1月分、勤勉手当の支給割合を0・05月分それぞれ引き下げ、年間支給割合を4・15月としたものです。

施行期日は平成21年12月1日

◎愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の

一部改正

(賛成全員)

ポイント＝一般職の職員の例により支給している教育長の勤勉手当の引き

下げを行ったものです。

施行期日は平成21年12月1日

◎愛川町教育委員会教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正

財産の取得

購入

◎教育用デジタルテレビ

取得価格

1千695万9千298円(103台)

納入者

日立電子サービス株式会社

納入期限

平成22年3月30日

納入期限

平成22年3月30日

◎教職員用パソコン・プリンタ購入

(賛成全員)

取得価格

1千864万7千895円(パソコン239台)

(プリンタ9台)

納入者

株式会社神奈川ウチダシステム 厚木支店

納入期限

平成22年3月30日

納入期限

専決処分

◎専決処分の承認(愛川町一般会計補正予算第4号)

ポイント＝今回の補正は歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1千819万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ128億3千701万6千円としたものです。

内容としては、新型インフルエンザ予防接種の実施にあたり、優先接種対象者等のうち生活保護世帯及び町民税非課税世帯に対して接種費用を助成するものです。

第4回 定例会

条例関係

◎愛川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ雇用保険法等の一部を改正する法律の公布に伴い、船員保険法の一部が改正され、地方公務員である船員のうち再任用短時間勤務職員について、地方公務員災害補償法の規定に基づく補償を行うこととされたことから、所要の条文の整理を行ったものです。

施行期日は平成22年1月1日

◎愛川町立児童館条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ平成21年度に建設を進めてきた小沢児童館が、本年2月末に完成することに伴い、新たな児童館として設置するため、本条例中に「小沢児童館」を加える改正を行ったものです。

施行期日は、公布の日から起算して4月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日

補正予算

◎愛川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

(賛成全員)

ポイントⅡ今回の補正は一般管理費や面整備事業などの減額分と雨水整備事業費の増額分の予算の組み替えを行ったものです。

主な内容としては、野尻排水区・するすみ排水区雨水幹線整備施設設計業務委託や、するすみ排水区雨水幹線整備事業です。

◎愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

(賛成全員)

ポイントⅡ今回の補正は歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ199万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ53億4千955万1千円としたものです。

主な内容としては、取立訴訟に係る弁護士費用等や過誤納保険税還付金の増額です。

事件関係

◎訴えの提起について(町税差押債権取立金請求)

(賛成全員)

ポイントⅡ町長が、町税の滞納金を徴収するため差押えした債権(滞納者が第三債務者(消費者金融業者)に対して、

利息制限法第1条第1項の所定の利息の制限額を超えて支払った金銭(過払金)の不当利得返還請求権)の取立てに対し、第三債務者が支払いに応じないことから、取立訴訟を提起するものです。

◎訴えの提起について(国民健康保険税差押債権取立金請求)

(賛成全員)

ポイントⅡ町長が、国民健康保険税の滞納金を徴収するために差し押さえた債権(滞納者が第三債務者(消費者金融業者)に対して、利息制限法第1条第1項の所定の利息の制限額を超えて支払った金銭(過払金)の不当利得返還請求権)の取立

てに対し、第三債務者が支払いに応じないことから、取立訴訟を提起するものです。

◎訴訟上の和解及び損害賠償額の決定

(賛成全員)

事件名Ⅱ横浜地方裁判所相模原支部平成20年(ワ)第82号損害賠償請求事件和解及び賠償の相手方Ⅱ相模原市在住の方損害賠償額Ⅱ200万円

和解の主な要旨

町は、相手方に対し、本件事故にもとづく損害賠償債務として、金200万円を支払う。

本件に関し、安全に対する配慮が不十分であったことを認め、今後安全配慮に努める。

財産の取得

◎愛川町立小中学校理科教育設備備品(移行措置分)購入

(賛成全員)

取得価格
781万8千531円

物の重さ比較実験体等
194セット

納入者

株式会社ミヤダイ中央社

納入期限

平成22年3月30日

人事

◎人権擁護委員の推薦に係る意見

ポイントⅡ現在、人権擁護委員である内藤浩由氏

が平成22年3月31日をもって任期満了となることから、人権擁護委員法の規定により、次の方を適任と認めました。

愛川町半原在住

木 藤 孝 一 氏

◎愛川町農業委員会委員の推薦

議会推薦の農業委員会委員の辞任に伴い、12月15日、本会議最終日に、次の方を後任委員として推薦することに決定しました。

議会推薦

小林 敬子議員



議員提出議案

細菌性髄膜炎を予防するワクチンの 早期定期予防接種化を求める意見書

◎細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書
(賛成全員)
議員提出議案として提出し、審議の結果、全会一致で原案のとおり可決し、次のとおり意見書を閣内関係行政庁に送付しました。

細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書

細菌性髄膜炎の日本での患者数は、年間約1,000人にのぼると推定され、起因菌の6割強がインフルエンザ菌b型(Hib=ヒブ)と約3割が肺炎球菌で、この二つの原因菌によるものが全体の約9割を占めています。

この細菌性髄膜炎は早い段階での診断は難しいとされており、迅速な治療が施されても、ヒブの場合で3～5%の患児が死亡します。生存した場合でも10～20%程度、脳と神経に重大な損傷が生じ、水頭症、難聴、脳性まひなど様々な後遺症を引き起こします。

このヒブと肺炎菌による細菌性髄膜炎は、ワクチン接種により効果的に予防することが可能であり、世界保健機関もワクチンの定期予防接種を推奨しており、欧米、アジア、アフリカなど多くの国々で導入され、そのうちワクチンを定期接種化した国は発症率が大幅に減少しています。

わが国においては、昨年12月から医療機関においてHibワクチンの任意接種が可能となりましたが、4回接種で約30,000円の自己負担となっています。また、乳幼児に使用できる7価結合型肺炎球菌ワクチンは、まだ審査段階ですが、こちらも4回接種が必要となり、ヒブと合わせると相当な額が保護者負担となります。

よって、国におかれては、細菌性髄膜炎の早期定期予防接種化を図るため、次の事項について実現されるよう強く要望する。

- 1 速やかにヒブ重症感染症(髄膜炎、喉頭蓋炎および敗血症)を予防接種法による定期接種対象疾患(一類疾病)に位置づけること。
- 2 肺炎球菌ワクチン(7価ワクチン)についても、発売後速やかに定期接種化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月15日
内閣総理大臣・内閣官房長官・衆議院議長・参議院議長・財務大臣
厚生労働大臣 殿
神奈川愛甲郡愛川町議会
議長 森川絹枝

陳情の審査結果

今回の定例会で結論(12月15日)の出た陳情は次のとおりです。(敬称略)

件名	結論	陳情者
陳情第9号 細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書提出を求める陳情書	採択 (賛成全員)	横浜市神奈川区金港町5-36東興ビル2階 神奈川県保険医協会 理事長 池川 明
陳情第10号 「JR不採用問題の早期解決に向けた意見書を国に提出することを求める」ことについての陳情	不採択 (賛成7人・反対10人)	神奈川県横浜市鶴見区豊岡町1番27号 国鉄労働組合神奈川地区本部 執行委員長 姉崎 憲敏
陳情第11号 「保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書」を国に提出することを求める陳情	机上配付	横浜市神奈川区金港町5-36東興ビル2階 神奈川県保険医協会 歯科部会長 馬場 一郎
陳情第12号 最低保障年金制度の実現を求める陳情	机上配付	愛川町半原287-4 全日本年金者組合愛川年金者の会 会長 黒澤 鍊太郎

※陳情9号については、委員長報告に対する賛否
※陳情10号については、陳情原案に対する賛否

請願・陳情のゆくえ

会派 議決一覧表（平成21年第3回臨時会）

各会派賛否 ○…賛成、●…反対

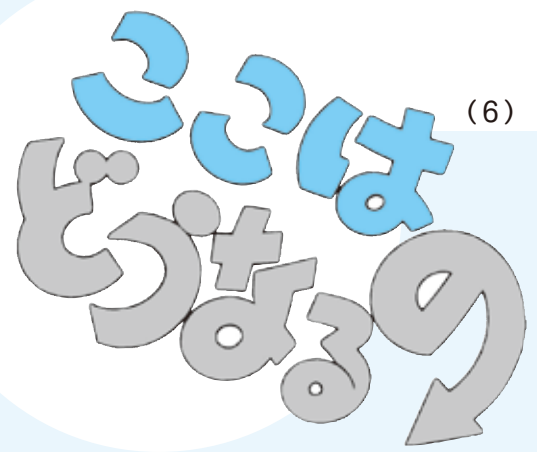
議案番号	議案の件名	あいかわ (6人) 馬場議員 林議員 中山議員 鈴木議員 成瀬議員 渡辺議員	愛政 (4人) 熊澤議員 鳥羽議員 小倉議員 熊坂弘久議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共産 (2人) 井上議員 小林議員	民主みらい (2人) 近藤議員 熊坂徹議員	公明 (2人) 井出議員 森川議員	議決結果
町長提出 第62号	愛川町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第63号	愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第64号	愛川町教育委員会教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第65号	専決処分の承認について (平成21年度愛川町一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	承認
町長提出 第66号	財産の取得について (教育用デジタルテレビ購入)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第67号	財産の取得について (教職員用パソコン・プリンタ購入)	○	○	○	○	○	○	可決

会派 議決一覧表（平成21年第4回定例会）

各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	あいかわ (6人) 馬場議員 林議員 中山議員 鈴木議員 成瀬議員 渡辺議員	愛政 (4人) 熊澤議員 鳥羽議員 小倉議員 熊坂弘久議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共産 (2人) 井上議員 小林議員	民主みらい (2人) 近藤議員 熊坂徹議員	公明 (2人) 井出議員 森川議員	議決結果
議員提出 第6号	細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第68号	愛川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第69号	愛川町立児童館条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第70号	平成21年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第71号	平成21年度愛川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第72号	訴えの提起について (町税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第73号	訴えの提起について (国民健康保険税差押債権取立金請求)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第74号	訴訟上の和解及び損害賠償額の決定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第75号	財産の取得について(愛川町立小中学校理科教育設備備品(移行措置分)購入)	○	○	○	○	○	○	可決
—	農業委員会委員の推薦について	—	—	—	—	—	—	指名推薦
陳情 第9号	細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書提出を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 第10号	「JR不採用問題の早期解決に向けた意見書を国に提出することを求める」ことについての陳情	●	●	○	○	○	○	不採択
陳情 第11号	「保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書」を国に提出することを求める陳情	—	—	—	—	—	—	机上配付
陳情 第12号	最低保障年金制度の実現を求める陳情	—	—	—	—	—	—	机上配付

※陳情第9号は委員長報告に対する賛否
※陳情第10号は陳情原案に対する賛否



一般質問



ヒブワクチン 定期接種化と助成

井上 博明議員

問

細菌性髄膜炎から子供の命を守る為に、ヒブワクチンの定期接種化を国に要請し、町独自のヒブワクチン接種助成の考えについて伺います。

国に要請 助成は研究

町長 国では平成19年1月にヒブワクチンを承認しています。今後、ヒブワクチンの定期予防接種化を強く要望したいと考えます。町独自の接種助成については、他市町村の動向を注視し、研究をしていきたいと考えます。

町長の選挙公約 優先順位は

問

日本共産党議員団は、会派代表質問、一般質問や予算要望で現行の小児医療費助成4年生までを6年生までに拡大を図ること、高校生の通学費助成などの早期実現を要請してきました。そこで、公約の優先順位について伺います。

全てが優先 全力で取り組む

町長 これまでに町民皆さんの多くの声を基調とし、公約に掲げまして、全ての施策が優先と考え、おろ、子供からお年寄りまで全ての町民皆さんが安心して暮らせるよう、公約の早期実現に向けて、全力で取り組んでいきたいと考えます。

他の質問事項①半原小学校の拡張②旧郷土資料館の活用



公園の管理 シルバーの活用を

熊坂 徹議員

問

公園の管理を指定管理者ではなく、シルバー人材センターに委託すれば、お年寄りに就業の機会を提供する生きがい対策事業にもなり、まさに、一石二鳥ではないか。

民間を圧迫せず 徐々に拡大を検討

町長 シルバーには、高齢者の生きがい対策や就業対策という観点から助成しているの、一石二鳥になるかと思えます。

今、民間を圧迫しないように、徐々に拡大していくことを検討しています。

高額すぎる町長の退職金

問

町長には、1期4年ごとに高額な退職金が支給されます。こうした優遇制度は、今の経済社会情勢にそぐわないものであり、町民の生活感覚からしても理解が得られないのではないか。

評価は千差万別 組合の方針尊重

町長 我々常勤特別職は住民皆さんの負託に応えるべく、行政運営の責任

者として、心血を注いで考え行動をし、日々努力しているところです。住民皆さんの評価というのは千差万別で様々なご意見もあると思います。

今後、退職手当組合において、社会経済情勢を考慮しながら、退職手当に係る議論が進められるもと考えていますので、組合の方針に沿うことが適切であると考えます。

他の質問事項①多選の弊害②自治基本条例



シルバー人材センターの作業委託
＝三増陸上競技場

住民参加を基に
今後 充実

町長 各分野で数多くの
町民の皆様にご参画を頂
いており、住民参加に関
する諸制度の運用は軌道
に乗りつつあると認識を
しています。今後により
一層充実に努めていきま
す。

問 先般の町長選挙
において、山田町
長は無投票当選されま
した。そこで、選挙時
のスローガンとされた
住民参加の実績と三期
目に向けた取り組みに
ついて、考えを伺いま
す。

町長3期目の 取り組み



渡辺 基議員

休業日の受け入れ
午前8時で検討

教育長 放課後児童クラ
ブ

問 放課後児童クラ
ブの事業は、見直
しの時期に来ていると
思われますが町長の考
えを伺います。

「放課後児童クラブ」 事業運営の見直し



放課後児童クラブ指導員会議

=菅原児童クラブ

ブについては、長期休業
日などの午前8時から受
け入れをする方向で検討
しています。
生涯学習課長 見直しに
よる30分の早朝勤務は現
在の指導員で対応してい
きたいと考えています
他の質問事項①中学校給
食

町長 本町の橋梁は、大
きな負荷となる大型の特
殊車両等の利用が少なく
定期点検の結果において
も、橋梁本体や橋台など
の主要構造物については
落橋の要因となり得る破
損や亀裂などが確認され
ていません。よって、震
災による甚大な事故につ
ながる危険性は低いもの
と考えています。

定期点検の結果 危険性は低い

問 本町の道路橋の
経年劣化に対する
維持補修計画につい
て伺います。

道路橋の経年劣化 安全性の確保は



山中 正樹議員

自治体間で連携 継続的に要望

町長 小田急多摩線延伸
の進捗状況については、
これまで、神奈川県鉄道
輸送力増強促進会議を通
じ様々な要望を続けてき
ています。特に、小田急
多摩線の唐木田駅から横
浜線、相模線方面への延
伸については、本町に
とって効果的な路線であ
ることから、さらに相模
線以西への延伸につい
て、継続的に要望活動を
行っています。今後は、
小田急多摩線の延伸促進
を図るための自治体間の
連絡調整を密にしなが
ら、有意義な取り組みに
努めていきたいと考えて
います。
他の質問事項なし

小田急多摩線延伸の進捗

問 小田急多摩線の
延伸について、昨
年12月議会の答弁で
は、周辺市町村との連
携を強め、粘り強く要
望を続けるとのことだ
した。この間の進捗状
況を伺います。



中津大橋

高校生の通学費補助の実施時期



小林 敬子議員

問 町外に通う高校生へ来年度からの通学費補助を望みますが、いつから実施するのか、町長の考えを伺います。

財政状況を勘案慎重に判断

町長 現在、本町において高校へ通学する生徒は1千人を超え相当な経費がかかります。できる限り、早期に制度の導入をしたいと考えますが、財政状況を勘案しながら慎重に判断していきます。

「養鶏場の臭気対策」微生物消臭剤への補助

問 養鶏場では、20年11月28日に町へ微生物消臭剤助成の申請をし、1年が経過しても正式文書による回答がないと言っています。理由を伺います。

消臭効果を検証確認後判断

農政課長 この製品は、好気性微生物を利用して堆肥化を促進することが主であり、県の専門研究

機関に相談、協議したところ、一定の期間を経ての実証が必要であり、短期間で判断できるものではない旨の助言を得ています。このため、同年12月25日付けで養鶏場に対して消臭効果が検証された時点で補助金交付に該当するか否か判断する旨文書にて回答をしています。他の質問事項①投票所の見直し



消臭効果が期待される養鶏場
＝三増地区

農業振興お茶の特産化推進



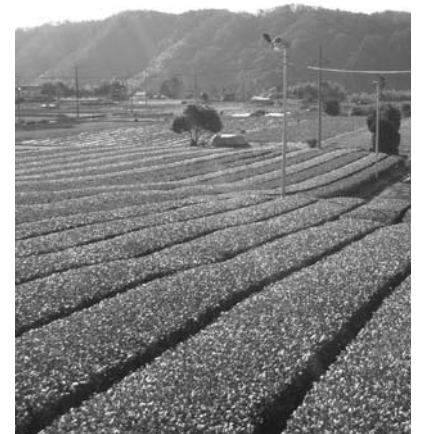
熊坂 弘久議員

問 今回の町長選のマニフェストで農業振興策として、お茶の特産化をあげているが、現在の状況はどうなっているのか伺います。

今後とも積極的な支援に努める

町長 県央愛川農協も平成16年より茶園整備に着手し、町としても防霜ファンや機械化の助成などを行っており、遊休荒廃農地の解消策の一環としても、お茶が町の特産品の一つとなるよう、積極的な支援をしていきます。

新図書館の構想づくり



三増地内にあるお茶畑

問 新図書館の構想づくりですが、時期と内容、また、建設場所として旧町立体育館跡地を提案しますが、その考えについて伺います。

財政状況と優先度勘案して検討

町長 図書館の機能、サービスを如何にするか住民の構想をつくるのが大事意見を取り入れ基本構想づくりを検討します。検討の時期については世界的な経済不況の中で、財政状況も厳しくなっているため、財

政と行政課題の優先度を勘案しながら構想づくりを検討したいと考えます。なお、ご提案の愛川東中学校裏の旧体育館跡地の利用については、建築基準法等の制約もあることから、文化会館の周辺を考えています。

教育長 図書館は必要ですが、早急に建物を造る

よりは、しっかりとした構想をつくるのが大事であると考えます。

他の質問事項①高齢者サロン②行政改革の推進と健全な財政運営

町長 町では、10月にEV車1台の購入と無料で利用できる急速充電器を設置しました。税の減免については、来年度から軽自動車税を免除し普及に努めていきます。

来年度から実施 普及に努める

問 電気自動車を普及させる為には、助成制度が不可欠です。大和市や大磯町、箱根町、湯河原町では、軽自動車税を免除しているが本町でもできないか伺います。

電気自動車の助成 軽自動車税免除を



小倉 英嗣議員

町長 平成15年に専門業

温泉は研究課題 道の駅は困難

問 宮ヶ瀬ダム完成後の半原地区は、商店街がシャッター通り化し、深刻な状況です。そこで、年間2億5千万円入っているダム交付金を活用して温泉や道の駅の観光拠点整備ができないか伺います。

「温泉・道の駅」 ダム交付金の活用を望む



本町の電気自動車と急速充電器
＝庁舎分館裏

者に委託して、温泉が出ることは確認できましたが、多額の費用がかかることから研究課題と考えています。道の駅は県との調整が必要ですが、財政状況などで認めない為、整備は困難と考えています。観光振興施設整備は重要課題と認識しています。

他の質問事項①馬渡橋の架け替え

町長 公約に健康福祉を掲げています。健康を守るには、予防が大事です。ヒブ・肺炎球菌ワクチン等については、国の検証後、定期接種に加えることなどを国に強く要望していきます。

定期接種化 国に強く要望

問 細菌性髄膜炎は、ヒブワクチンで予防できる時代になってきました。そこで、予防に対する町長の考えを伺います。

ワクチンによる 予防医療の考え



井出 一己議員



乳がんと子宮頸がんの検診無料クーポン券

町長 9月定例議会で補正予算可決後、対象者にクーポン券を配付し、事業展開を図っています。

受診申込者数 昨年を上回る

町長 他質問事項①ヒブ・肺炎球菌ワクチンの助成

対象になる子宮頸がん、乳がん検診については、年度途中から制度化されたことから、受診者数は年度末にならないと判明しません。しかし、無料で検診できることや、検診手帳の配付でがん検診の理解、周知が図られたことにより、受診申込者数はすでに、昨年を上回り、効果が出ているものと考えています。

問 がん検診率がOECD国で最低の日本ですが、その中で女性のがん検診対策として無料クーポン券検診手帳の事業がスタートしました。現状の取り組みと効果について伺います。

「がん検診」 無料クーポン券の効果は

ごみの分別と減量 今後の取り組みは



近藤 幸子議員

問

厚木市・愛川町・清川村は、ごみの共同処理を目指し厚木愛甲環境施設組合を設置しました。焼却・埋め立ては、限界です。ごみの分別と減量化は重要課題であるが、今後の取り組みを伺います。

収集体制を見直し 資源化品目も拡大

町長 平成24年度から実施予定の厚木市でのごみ共同処理開始に合わせ、収集体制の見直しと資源化品目の拡大を実施し、ごみ減量化・資源化の向上につなげていきます。

特別支援学校の分教室設置

問

特別支援(養護)学校過密化に伴い、県立高校内に特別支援学校の分教室の設置が増えています。本町のように交通の便が悪い地域では、障がいをもつ生徒が町外の学校に自力通学することは非常に厳しい状況です。本町にも県立愛川高校がありますが、圏域の特別支援学校の分教室設置の可能性について伺います。

教育長連合会通じ 今年度・県に要望

教育長 障がいのある児童・生徒にとって特別支援学校や分教室への通学が大変不便なことは、町教育委員会も十分認識しています。県に対し神奈川県市町村教育長連合会を通じて、愛甲教育事務所管内に特別支援学校の設置を継続して要望し、今年度は分教室の設置も要望していきたいと考えています。



企業誘致に関する 条例について



小島総一郎議員

問

愛川町企業誘致等に関する条例について平成23年度以降延長していくのであれば、ぜひ町の独自性を持った条例づくりを望みますが、町の考えを伺います。

有効な方策を研究 効果的な条例を

町長 本条例は平成22年度までの時限条例であることから、今後、有効な企業誘致方策について十分研究し、より効果的な条例となるよう見直しを進めていきたいと考えます。

「法人町民税」 今後の見通しと減収防止策

問

この不況下で法人町民税が減収になっっているが、今後の税収見通しと減収防止の取り組みについて伺います。

企業誘致政策を充実 税収の確保を図る

町長 平成21年度の法人町民税の最終的な収入見込みは、当初予算より4億6千万円程度落ち込むことが予想されます。町としては今後、相模縦貫道路のインフラ整備によ

他の質問事項①町が関与するまったり行事

愛川町企業誘致制度のご案内

この条例は、愛川町内の指定区域に立地する企業が、一定の要件を満たした場合に、税収減額として税収減額（税収減額）及び減収防止策を実施するためのものです。

対象地域	愛川町の指定区域のうち、工業系企業及び県立愛川ハイテク工業団地
企業の要件	① 資本金及び出資総額：(国・県)所有企業は要せず、(株)資本金(1億円以上、中小企業者1億円以上) ② 従業員数：(1)10人以上、(2)10人以上、(3)10人以上 ③ 産出物(製造品)：(1)10人以上、(2)10人以上、(3)10人以上 ④ 産出物(製造品)：(1)10人以上、(2)10人以上、(3)10人以上
減収防止策	① 減収防止策：(1)10人以上、(2)10人以上、(3)10人以上 ② 減収防止策：(1)10人以上、(2)10人以上、(3)10人以上 ③ 減収防止策：(1)10人以上、(2)10人以上、(3)10人以上
実施期間	平成23年3月31日まで実施していること。

企業誘致条例のPR紙

町長 これまでの研究会の中では、現在考えられる二、三の施設の配置などを含めて協議をしてきました。売却も一つの案として視野に入れながらさらに検討をしていきたいと思っています。

売却も一つの案 視野に入れ検討

問 東中学校横の町立体育館の解体作業が始まるようであります。体育館跡地を売却して、町の財源に充てることについて町長の考えを伺います。

町立体育館跡地 売却の考えは

熊澤 俊治議員



本年度解体工事が行われる町立体育館
＝愛川東中学校北側

情報交換が主 新年度予定なし

町長 新年度予算の中で
の小田急多摩線延伸に
対する予算計上については

問 新年度予算の中で
本町の小田急多
摩線延伸に関する予算
計上をされるのか伺い
ます。

相模原市・厚木市・愛川町・清川村の2市1町1村の担当課長による小田急多摩線の延伸促進に関する連絡会において、現在、要望や情報交換といった取り組みが主なものであり、新年度では、現在のところ特に予算計上する予定はありません。他の質問事項なし

「小田急多摩線延伸」 関連予算の計上について

総 括 質 疑

ここが聞きたい! そこが知りたい!

成瀬 和治議員（あいかわクラブ）

Q 訴訟上の和解及び損害賠償訴訟請求事件の損害賠償額200万円の内容について

A 損害賠償の額200万円の内容については、入院治療費等が62万円、傷害慰謝料が188万円、後遺障害慰謝料が550万円、総額で800万円です。このうち、町の過失割合が25%となっていることから、支払額200万円となっています。

導を徹底するとともに、注意喚起が必要な箇所については立て札をするなど、再発防止に向けた対策を講じていきたいと考えています。

Q 訴訟上の和解及び損害賠償訴訟請求事件における今後の安全対策について

A 今後の安全対策については、現場パトロールの強化、草刈りなどの指

なお、今回の牧場内の農道に係る側溝については、地理不案内な観光客が集まる場所であることから、安全確保を図る対策として側溝内に土嚢を設置しました。これは、道路に勾配があるため、雨水が側溝に流れ込む量も少ないことや道路面を流れる雨水を下流の横断グレーチングで集水できることから、こうした措置を講じたものです。

鳥羽 清議員（愛政クラブ）

Q 愛川町国民健康保険特別会計補正予算賦課徴収管理経費増額について

A 取り立て訴訟に係る弁護士は町の顧問弁護士なのか、取り立て専門の弁護士は町の顧問弁護士にお願いした

取り立て訴訟に係る弁護士は町の顧問弁護士なのか、取り立て専門の弁護士は町の顧問弁護士にお願いした

いと考えています。

弁護士費用74万円の算出根拠については、訴えを提起するために必要な経費として、弁護士費用と訴訟費用があり、弁護士費用は弁護士が手続を進めるための着手金として町の過去の事例や他市町村の例を参考に、過払い金元金の8%として68万6千円であり、訴訟費用として、裁判所へ支払う手数料が4万6千円となっています。裁判所が書類を送達するための郵

送費用として、予納金でありますが、これが8千円となり、合計で74万円を予算計上したものです。

Q 勝訴した場合、金額の増減について

A 勝訴した場合の金額の増減については、結審した場合、弁護士に対し成功報酬と交通費等の実費が別途必要となつてきます。こうした弁護士費用等の訴訟に必要な経費については、取り立て金の中から滞納処分費として徴収する予定であります。

その他の主な質疑事項

公共下水道事業特別会計補正予算

①過誤納保険税還付の件数について

①野尻排水区雨水幹線・するすみ排水区雨水整備事業の効果について
②野尻排水区雨水幹線・するすみ排水区雨水整備事業の完了年度について

訴えの提起について（町税差押債権取立金請求）
①今後の取立訴訟の対象者について

いて

国民健康保険特別会計補正予算

正予算

訴えの提起について（国民健康保険税差押債権取立金請求）
①費用対効果について

2 常任委員会 1 月所管事務調査

地方分権の推進に伴い行政が行う事務が専門かつ複雑化している中、各

常任委員会が所管する事務事業について、専門分野ごとに調査をし、現状の把握や疑問点の理解を深めました。

総務建設 常任委員会

1月25日（月）午前9時から、次のとおり所管事務調査を行いました。
○町道幣山下平線について

本路線は、町総合計画

や町都市マスタープランの中で整備を推進すべき路線として位置付けられており、町内幹線道路の渋滞解消と厚木市内の国道246号線へのアクセス機能を向上させることを目的としています。

道路の車線数は片側1車線（両側2車線）となり、車道幅員は7m、歩道幅員は3m（片側）で、平成23年の供用開始を目途に鋭意整備が進められています。

○久保ポンプ場について
久保ポンプ場は、下水道関連の施設で、半原地区の地形上、汚水の自然流下が困難であることから、汚水を下流へ円滑に送水するために整備された施設です。

場内には2基の汚水ポンプが設置され、半原地区の各家庭から排出される汚水を場内の貯留槽に流入させ、破砕機により貯留物を破砕した後、田代関口地区まで圧送する役割を果たしています。

○宮原水路改修について
昨今発生している局地的な豪雨により、半原原白地区では、大量の雨水が宮原水路に流入し、同水路の下流にある原下地区では浸水被害に見舞われたことから、県道相模原・愛川線の金山橋前から原下地区へ流れる水路の流量を調節するため、巻き上げ式の水門を設置するなど、浸水被害の防止を図るものです。

○外部評価制度について
外部評価制度は、行政評価のプロセスに第三者の参加機会を確保することにより、行政評価制度

の透明性・客観性の向上を図ることを目的としています。
また、外部評価対象事業は事務事業評価対象事業の中から選定し、各事業について①目的の妥当性②町が関与する必要性③成果・活動の改善余地の3視点から検討を行い、事業の今後の方向性に関する提言や改善提案を行います。

町は評価結果を受けて、今後の予算編成に反映させるよう努めるとともに、町ホームページなどにより公表することとしています。



宮原水路改修の現地調査
＝半原（原白地内）

教育 民生 常任委員会

1月26日(火) 午前9時から、次のとおり所管事務調査を行いました。

現地調査

○児童養護施設
「手まり学園」

手まり学園は児童福祉法41条に定められた児童福祉施設です。予期できない災害や事故、親の離婚や病気など様々な事情により家庭での養育が困難な子どもたちが生活しています。

開所日 平成21年3月25日

所在地 半原3715番地

土地面積 6,320㎡
建物面積 1,577㎡

児童数 定員 50名
職員数 21名

現在の入所人員は、平成21年12月1日現在で25人です。



「手まり学園」の現地視察
＝半原（両向地内）

○中学校給食配膳室

愛川中・愛川東中学校の配膳室は、生徒用昇降口にそれぞれパーテーションにより36㎡のスペースを確保しています。

また、愛川中原中学校の配膳室は、牛乳保冷庫を設置している部屋を利用しています。

○小沢児童館
建物構造 鉄骨平屋建て
建築面積 224㎡
床面積 202㎡

施設概要 事務室兼図書室・会議室(和室)・プレイルーム・給湯室・倉庫

事業説明

○中学校給食の現状について
生徒の申込状況
(3中学校全体)

平成21年

10月分

46・7% (591食)

11月分

40・6% (515食)

12月分

40・6% (515食)

平成22年

1月分

37・6% (476食)

視察来庁

本町の議会運営等について、次のとおり視察がありました。

1月22日(金)

群馬県邑楽郡大泉町議会

議会運営委員会

視察内容

・会派制について

2月5日(金)

愛知県愛知郡東郷町議会

議会運営委員会

視察内容

・議会運営について

・議会改革検討委員会について

・町独自の議員研修会の内容について



群馬県大泉町議会の視察

神奈川県町村議会議員 研修会

平成21年11月13日に寒川町民センターにおいて
神奈川県町村議会議員会

主催による町村議会議員研修会が、次のとおり開催されました。

講師 同志社大学大学院

教授 浜矩子氏

演題 「どうなるグローバル経済・どうなる日本の格差拡大」



浜矩子氏による講演

「読み聞かせボランティア」



(中津在住)

菅原小学校での読み聞かせボランティア「ポエム」に参加して七年目を迎えます。「お母さんが子どもに本を読み聞かせる感覚でいいよ」という代表さんのお言葉で始めましたが、子ども達のキラキラした瞳に元気を貰いながら、逆に勉強させてもらうことの多いこと。季節や行事を考えながら次は何を読もうかな?と図書館に行くこと

もばしば。子ども達と一緒に本の世界が広がっていく日々です。教育の専門家でもない私など受け入れて下さる学校側にも感謝しています。

平成20年度からは、ブックスタートという町の事業にも参加。これは、他の読み聞かせボランティアの方々と共に、4ヶ月健診の赤ちゃんとお父さんお母さんに本の読み聞かせをお勧めするも

のです。4ヶ月の赤ちゃんでも、しっかりと本を見つめ、言葉を聞き姿に驚かされます。物語が高度な技術で映像化される昨今ですが、言葉によって想像の翼を拡げる力を育むことの大切さを今一度考えてみたいものです。そして、より多くの方、特に小学生のお母様方が読み聞かせに関心をもち参加して下さいますように。

編集後記

今年の干支は寅年です。昭和25年生まれの方が還暦を迎える年でもあります。

さて、平成22年最初の議会だよりですが、新メンバーでの発行となりました。今後も読みやすい紙面づくりの編集に努力してまいります。

また、次回の3月定例会は22年度予算を審議する重要な議会です。ぜひ、傍聴においてください。

議会だより編集委員会

委員長 熊坂 弘久

副委員長 井出一己

委員 渡辺 基

委員 馬場 司

委員 成瀬 和治

委員 小島 総一郎

委員 熊坂 徹

委員 熊澤俊治

委員 井上 博明

3月定例会は下表のと
おりです。本会議はいず
れも午前9時から開会さ
れます。

また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、2月19日（金）に

開催予定です。

陳情・請願の締切日は
2月12日（金）になります。

日程が変更になる場合、
す。

月	日	曜	会 議 名
3	1	月	本会議(施政方針・提出議案の説明)
	2	火	本会議（一般質問）
	3	水	本会議（一般質問）
	10	水	本会議(個人総括質疑・会派代表質問)
	11	木	総務建設常任委員会・教育民生常任委員会
	12	金	総務建設常任委員会
	15	月	教育民生常任委員会
	16	火	総務建設常任委員会
	17	水	教育民生常任委員会
	18	木	総務建設常任委員会
	25	木	本会議(委員長報告・討論・採決)
26	金	(予備日)	

もありますので、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

ご覧ください
会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは、下記の町公

共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、12月定例会の会議録は、3月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会はよりは、録音求
ランティアグループ「か
えでの会」のご協力によ
り、視覚障害者用に音声
テープ化されています。
ご希望の方は、社会福祉
協議会にご連絡ください。
(内線3792)